

Q3. 量子力学に関する教科書、参考書、演習等の書籍は数多く出版されています(阪大図書館の簡易検索でも 800 件以上ヒット)。ご卒業された学科や聴講された講義により適切な書籍が変わります。初心者向けには、ネットで「量子力学」、「やさしい」、「よくわかる」等の語で検索していくつか選び、それらの書籍の評価意見を参考にしたり、図書館でのチェックしたり [阪大図書館等でのリモート検索も可(大阪大学 OPAC ([osaka-u.ac.jp](http://osaka-u.ac.jp)))], 本屋で見てください。ご自身が最も適しているものを選びたいと思います。

半導体に関する参考書としては、物性のみならずデバイスも言及した方がとっつきやすいと思われ、以下の書籍が挙げられます。

○濱川圭弘編著「半導体デバイス工学」オーム社、B5 サイズ、122 頁、2500 円。(講義資料に記載済、比較的平易に書かれ、初学者にはとっつきやすい本かと思われます。)

○濱川圭弘・西野種夫共著「光エレクトロニクス」オーム社、B5 サイズ 108 頁、2500 円。(講義資料に記載済、半導体の光関係の理解に良い。)

○松波弘之、吉本昌弘著「半導体デバイス」共立出版、A5 サイズ 212 頁、3200 円。(半導体とデバイス全般でよく書けています。)(奥山 雅則)